

活動内容（団体ボランティア）

高田短期大学

参加便：第15便（9月17日～20日）

人数：15名

活動内容：ハンドマッサージ、保育支援、出張カラオケ

3班に分かれ、全9ヶ所の活動。現地ニーズに合わせたポスティング、仮設団地の集会所・談話室にてサロン活動として当センターでの講習によるハンドマッサージ、人間介護福祉学科の学生を中心に出張カラオケを実施。2日目の午前、町内の保育施設3ヶ所に分かれ、子ども学科の学生を中心に各保育園の要望に合わせた絵本の読み聞かせ等のお遊戯活動を行いました。



学生たちの被災地の方々への想いや日ごろ習得した技を活かせるとてもありがたい機会を頂きました。私は身内が被災しているのに、赴く気持ちには格別なものがありました。「被災してから1年半、歌をうたう気分にもなれなかったし、周りへのはばかりもあってね。皆さんが良い機会を作って下さったのでやっと歌うことができたよ。」と、仮設集会所に集まった被災地の皆さん

が歌ってくださった

「大阪ラブソディ」が
脳裏から離れません。

高田短期大学東日本大震災
被災地応援プロジェクト
コーディネーター 杉谷 哲也さん



生徒から



子ども学科1年
近藤 智映さん

震災から1年半が経ち、被災地の現状を自分の目と肌で感じたくて参加しました。がれきや破壊された建物がそのまま残され震災の凄まじさを感じました。被災された方々が明るく前向きだったのがせめてもの救いです。被災地の皆さんの頑張り比べ、復興の遅さにいらだちを覚えます。支援がまだまだ不十分であるにもかかわらず、関心がどんどん薄れ、被災者の方々がますます孤立していくことが気がかりです。

三重短期大学

参加便：第17便（9月26日～29日）

人数：14名

活動内容：アルバムカフェ

2班に分かれ全4コマ、仮設団地の集会所・談話室、公共施設、学童保育にて当センターでの講習によるアルバムカフェを実施。3日目午後は、ゼミの一環として町役場総務課の方より聞き取り調査を行いました。



岩田 俊二教授



9月にゼミ生13人と山田町ボランティア活動に参加しました。ゼミ生が現地で病気になり、反対にお世話を受けてしまいました。ゼミでは、今年のテーマを津市の地震津波対策についての実証的研究としていましたので、当初から被災地でのボランティアまたは現地調査を実施する計画でありました。ボランティア活動はアルバムづくりでしたが、本当に何かのお役に立ったのか心許ないです。自分たちで活動内容を考えれば良かったです。

生徒から



生活科学科2年
川崎 美咲さん

私達の活動は「アルバム作りのお手伝い」でした。2日間という短期間で役に立てるか不安でしたが、地元の方々から「前から楽しみにしていた」「また自分の写真が持てて嬉しい」と言って頂き、参加して良かったと思えました。また、役場の方の復興計画にかかわるお話は今でも心に残っており、学んだことをゼミ研究に少しでも活かしたいと思います。

みえ災害ボランティア支援センター幹事団体

参加便：第22便（12月21日～24日）

人数：13名

活動内容：ハンドマッサージ、お正月飾り作り

みえ災害ボランティア支援センター幹事団体より参加者を募り第22便を運行。1日目は視察を兼ね、山田町の各関係機関とお話をさせていただき、2日目現地よりニーズの上がったお正月飾りとハンドマッサージの活動を2コマずつ実施。ハンドマッサージの待ち時間には、折り紙でポチ袋づくりなど、季節に合わせた物づくりを体験いただきました。

